



# 沓掛小学校だより

7月号

未来を拓く ~元気・やさしさ・かがやく瞳~

NO. 580

<http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

## 「主体的・対話的で深い学び」を目指して

副校長 榎本 純子

先日の学校公開には、たくさんの保護者・地域の方々に御参観いただきありがとうございました。今回はICT授業公開と道徳授業地区公開講座も兼ねておりましたが、いかがだったでしょうか。ぜひ感想をお寄せいただければと思います。

本校では、一昨年度から算数科を中心に「ペア学習」を取り入れた授業を展開してきました。低学年のうちから、自分の考えを友達と伝え合う活動を様々な教科で繰り返し行っています。始めは隣に座っている友達と話し、次に後ろにいる友達、さらには前にいる友達と話すというように、何回も自分の考えを伝え合う活動を続けてきたことで、自信をもって話すことができる児童が増えてきました。さらにグループで話し合ったり、討論会の形をとりながらお互いの意見を伝え合ったりするなど、様々な方法でお互いの考えを交流する授業作りを続けています。

また、ICT機器を使ってノートを電子黒板に大きく映しながら発表をしたり、画用紙やホワイトボードにまとめながら発表したりと、いろいろなツールを活用することで、子供たちの意欲が一層高まるような工夫もしています。中でも昨年度から使い始めた円卓（円の形をしたホワイトボード）を使ってのグループ学習では、これまでにない効果が見えてきています。

一つ目は、ノートに書いてある自分の考えを円卓に書き写すことで、もう一度考えを整理し、より分かりやすくまとめようとするところです。ポイントになるところの色を変えたり、太字にしたりする中で、一人一人の理解が深まっていきます。

二つ目は、円の形で向かい合っているので、友達と会話をしながら書くことになり、お互いに教え合

う学習が自然に始まるということです。これまで発表が得意でなかった児童や、ノートに書くことを面倒だと言っていた児童でも、円卓の学習には喜んで取り組む姿が見られます。

平成32年度から全面实施される学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められています。本校で行っている様々な取り組みをこれからも継続していくことは、きっとこの「深い学び」につながっていくのではないかと考えています。学ぶことに興味・関心を持ち、自己の学習を振り返って次につなげていく「主体的な学び」、友達や先生等との対話を通して自己の考えを広げ深める「対話的な学び」の実現を目指し、生涯にわたって学び続けようとする子供たちを育てていけるよう、これからも授業改善を続けていきます。

早いもので1学期の終業式まで残り2週間となりました。今学期も保護者の皆様、地域の皆様の温かい御協力や御支援のおかげで、充実した教育活動を行うことができました。ありがとうございました。夏休みには、長い休みにしかできない体験をするとともに、子供たちが意欲的・主体的に自由研究等の課題に取り組んでくれることを願っています。

